

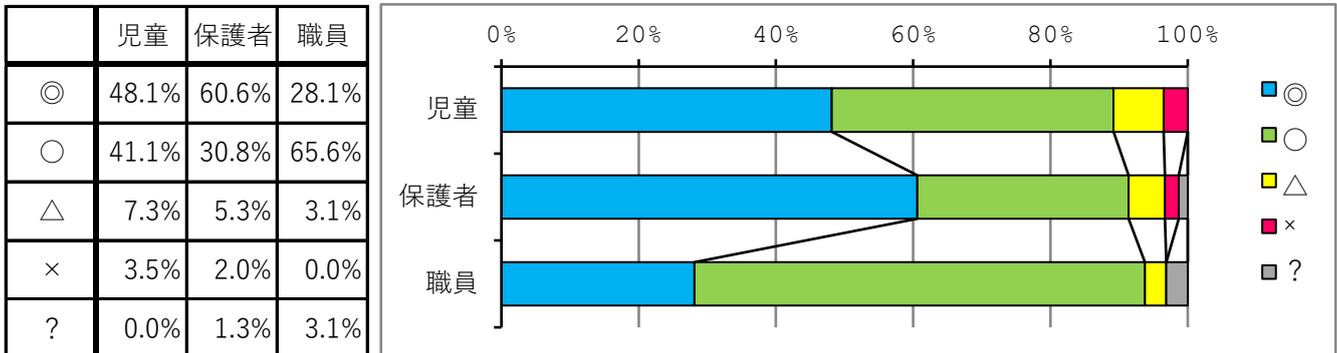
令和7年度 学校評価アンケート結果と分析

令和7年度

校務主任

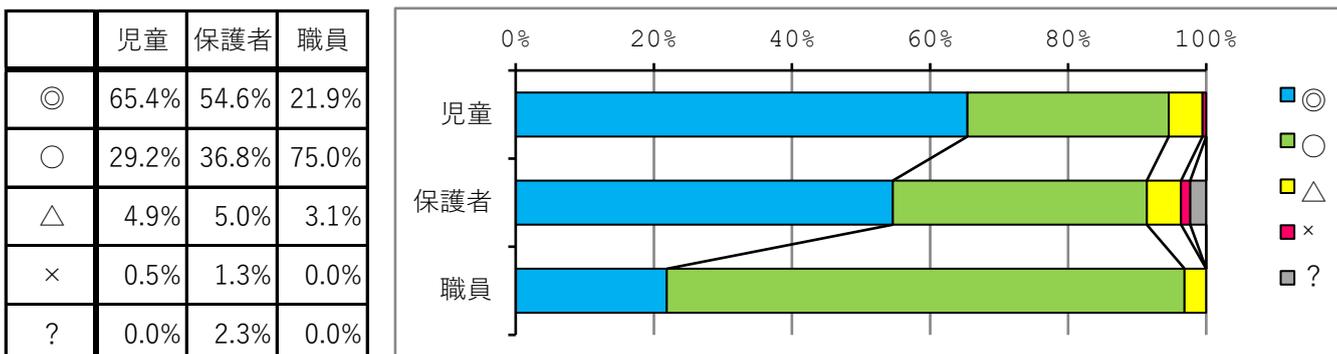
データ：児童370名・保護者302名・職員32名・地域52名

①学校が楽しい



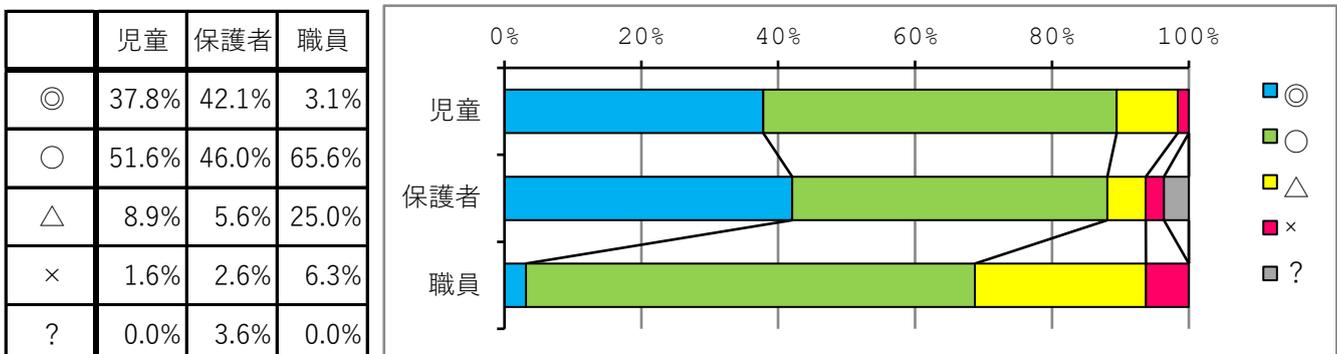
3者ともに90%近くが「学校が楽しい」「どちらかと言えば楽しい」と回答している。これからも学校生活アンケートをもとに、相談週間などで教員と児童が話をする機会を意図的に設けたり、保護者ともこまめに情報交換をしたりして、少しでも学校が楽しいと思えるように学校全体として児童一人一人を支援していきたい。

②友達と仲良くしている



3者とも90%を超える割合で「友達と仲良くしている」と回答している。今年9月からは運動場も開放され、ドッチボールや鬼ごっこ、遊具で遊ぶなど、友達と仲良く過ごしている姿が見られるようになった。また、異学年交流としてのペア活動も積極的に行われるようになり、異学年の児童ともかかわる機会も増えたことが、このような結果になったと考えられる。これからも継続して行っていきたい。

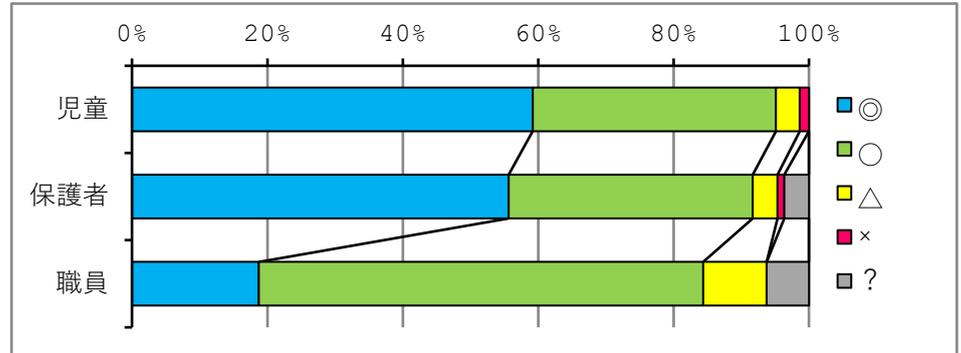
③きまりや時間を守っている



児童・保護者は90%近く、教員は70%近く「きまりや時間を守っている」と回答している。教員が共通理解のもと声掛けをするとともに、子どもたちも意識できるように、定期的に振り返る時間を取り入れるなど対策を考えていきたい。

④当番活動を積極的にやっている

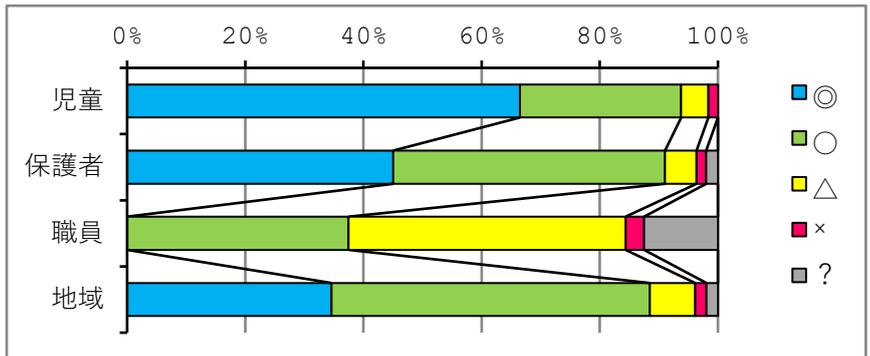
	児童	保護者	職員
◎	59.2%	55.6%	18.8%
○	35.9%	36.1%	65.6%
△	3.5%	3.6%	9.4%
×	1.4%	1.0%	0.0%
?	0.0%	3.6%	6.3%



3者ともに80%以上が「積極的にやっている」と回答している。昨年と比較すると教員の割合が10%高くなっており、給食当番や係活動、委員会活動などに積極的に取り組んでいることがうかがえる。責任をもって最後まで取り組むことを継続して行えるように、声かけをしていきたい。

⑤交通ルールを守って登下校している

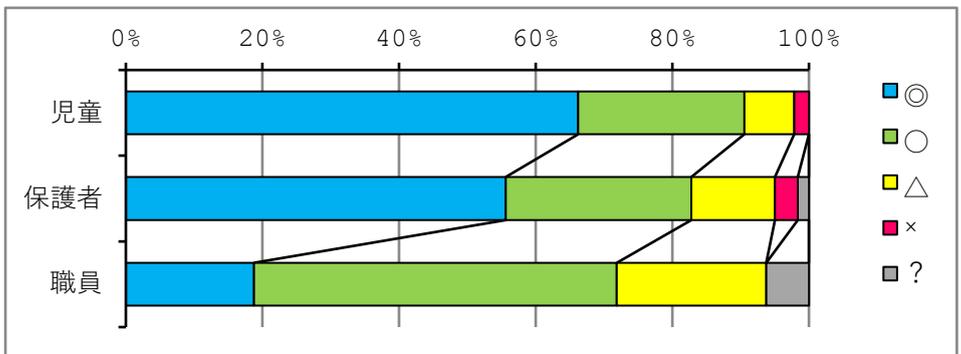
	児童	保護者	職員	地域
◎	66.5%	45.0%	0.0%	34.6%
○	27.3%	46.0%	37.5%	53.8%
△	4.6%	5.3%	46.9%	7.7%
×	1.6%	1.7%	3.1%	1.9%
?	0.0%	2.0%	12.5%	1.9%



児童・保護者・地域ともに、85%以上が「交通ルールを守って登下校している」と回答している。しかし「交通ルールを守って登下校している」と感じている教員は40%に満たない。地域の方から「道に広がって歩いて危ない」と何度も指摘されたり、下校指導においても横断歩道を走って帰る児童に注意することが多かったりすることが原因と考えられる。交通指導員、三防会、防犯パトロール隊などと連携して、児童たちの安全を見守っていきたい。

⑥給食をしっかり食べている

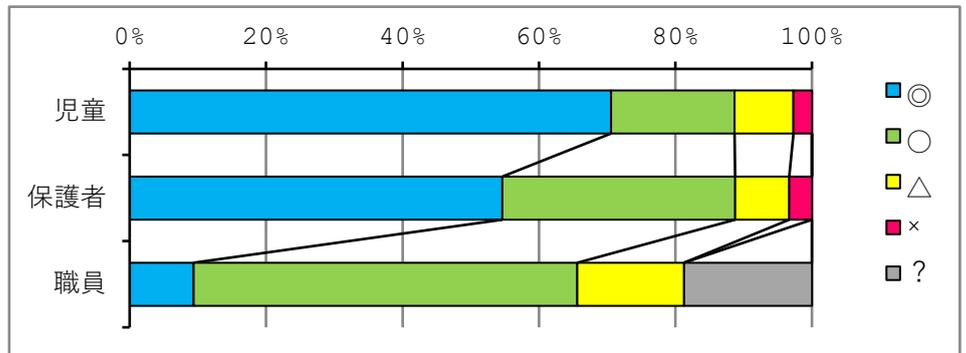
	児童	保護者	職員
◎	66.2%	55.6%	18.8%
○	24.3%	27.2%	53.1%
△	7.3%	12.3%	21.9%
×	2.2%	3.3%	0.0%
?	0.0%	1.7%	6.3%



児童・保護者ともに80%以上が「給食をしっかり食べている」と回答している。しかし、年々給食の残菜量が多くなっている。そのため給食委員会を中心に残食キャンペーンを行ったことで残菜量が減少した。キャンペーン期間中が終わっても継続的に声かけをしていきたい。またバランスの良い食事をとれるように、栄養教諭と連携を取りながら継続的に指導していきたい。

⑦朝食をしっかりと食べている

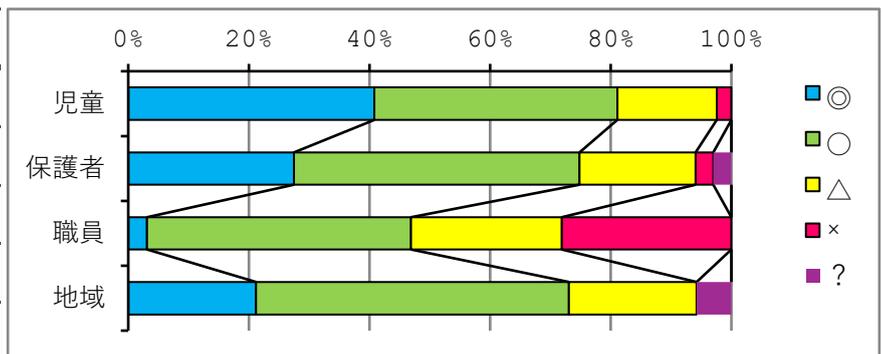
	児童	保護者	職員
◎	70.5%	54.6%	9.4%
○	18.1%	34.1%	56.3%
△	8.6%	7.9%	15.6%
×	2.7%	3.3%	0.0%
?	0.0%	0.0%	18.8%



児童・保護者ともに80%以上が「しっかりと食べている」と回答している。しかし学校に来て眠そうしていたり、授業中に集中力がなくなったりする姿から、教員は児童が朝食をしっかりと食べているか心配している。バランスよく朝食をとることは集中力があがり、学力の向上にもつながることを、学年通信などを通して発信していきたい。

⑧あいさつができています

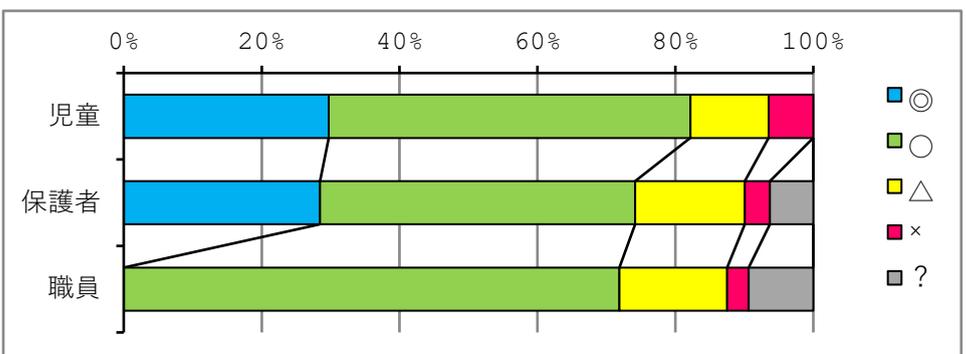
	児童	保護者	職員	地域
◎	40.8%	27.5%	3.1%	21.2%
○	40.3%	47.4%	43.8%	51.9%
△	16.5%	19.2%	25.0%	21.2%
×	2.4%	3.0%	28.1%	0.0%
?	0.0%	3.0%	0.0%	5.8%



児童は80%以上が「あいさつができています」と回答し、教員は50%以上が「できていない」に回答しており、あいさつに対する認識の差が大きい。この結果を受け、児童会を中心にあいさつ運動を行い全校に呼びかけたことで、自分からすすんであいさつができる児童が増えてきた。自然とあいさつができる子を増やしていくために、継続して行っていきたい。

⑨授業が楽しい

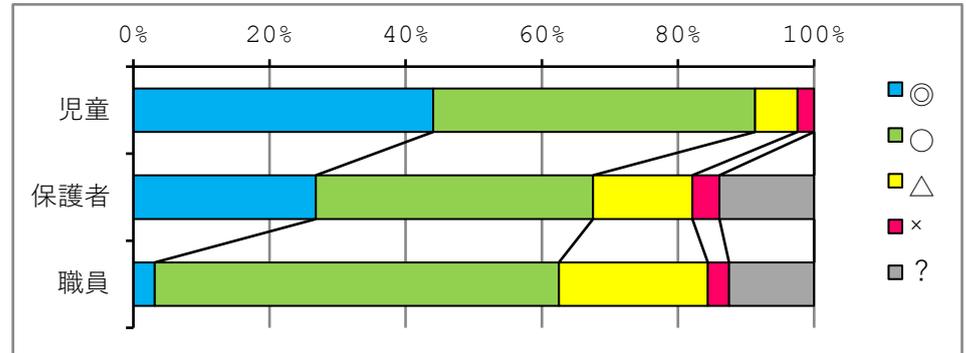
	児童	保護者	職員
◎	29.7%	28.5%	0.0%
○	52.4%	45.7%	71.9%
△	11.4%	15.9%	15.6%
×	6.5%	3.6%	3.1%
?	0.0%	6.3%	9.4%



児童・保護者ともに80%以上が「授業が楽しい」と回答している。今年度の研究「聴く」「考える」「つながる」を教員一丸となって取り組む中で、少しでも授業が楽しいと思えるような手立てを打っている成果であると思われる。今後も授業の研修を行ったりお互いの授業を見合ったりして、楽しい授業ができるようにしていきたい。

⑩授業がわかる

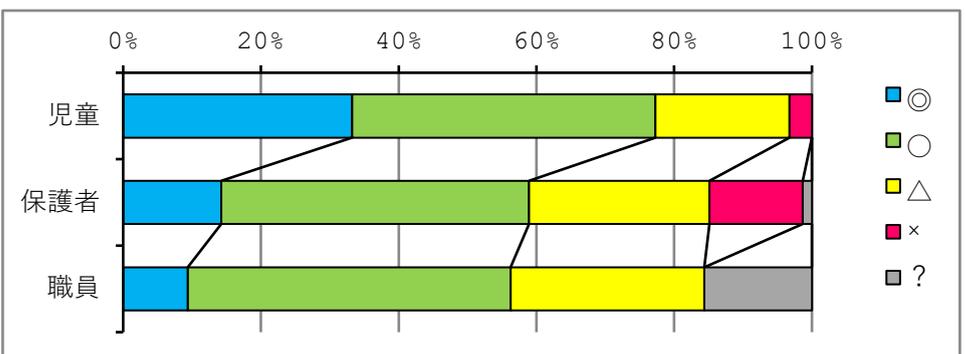
	児童	保護者	職員
◎	44.1%	26.8%	3.1%
○	47.3%	40.7%	59.4%
△	6.2%	14.6%	21.9%
×	2.4%	4.0%	3.1%
?	0.0%	13.9%	12.5%



90%以上の児童が「授業がわかる」と答えている。昨年度と比較しても30%以上増加している。教員が丁寧に授業に向き合い、児童が意欲的に取り組めるような授業を考えている成果だといえる。しかし、児童が「わかっている」と感じている教員の割合が60%であり、25%近くの教員が「わかっていない」と感じている。基礎基本も大切にしながら、どの児童にもわかるような授業展開を考えていきたい。

⑪家庭学習をしている

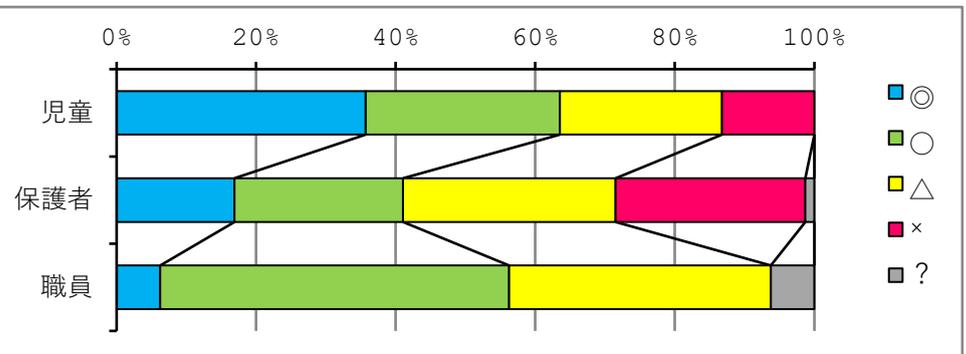
	児童	保護者	職員
◎	33.2%	14.2%	9.4%
○	44.1%	44.7%	46.9%
△	19.5%	26.2%	28.1%
×	3.2%	13.6%	0.0%
?	0.0%	1.3%	15.6%



児童は80%近くが「家庭学習をしている」と回答している。宿題の提出状況はどの学級も80%を超えている様子から、宿題以外の学習はしていないと感じている保護者が多いのではないかと推測される。学校の授業ではタブレットを活用した学習も行われているので、紙媒体以外にもタブレット学習に取り組めるように環境を整えていきたい。

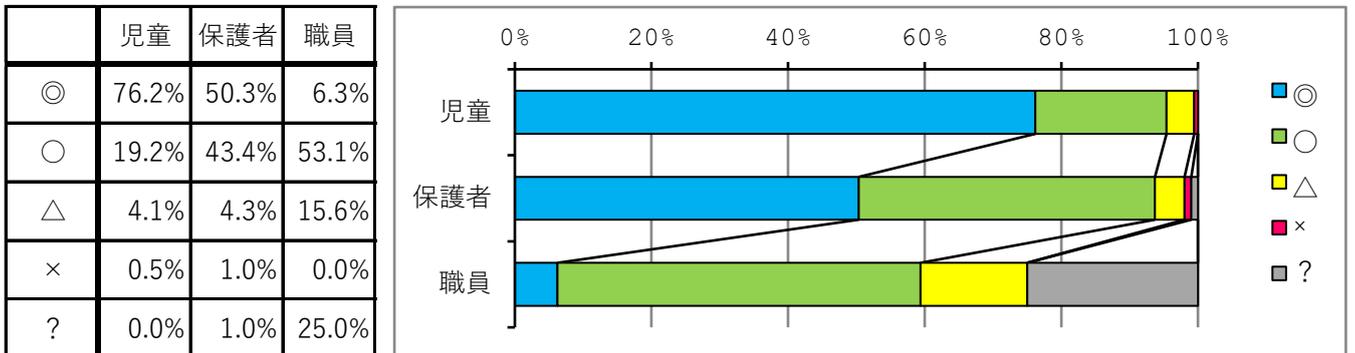
⑫読書に親しんでいる

	児童	保護者	職員
◎	35.7%	16.9%	6.3%
○	27.8%	24.2%	50.0%
△	23.2%	30.5%	37.5%
×	13.2%	27.2%	0.0%
?	0.0%	1.3%	6.3%



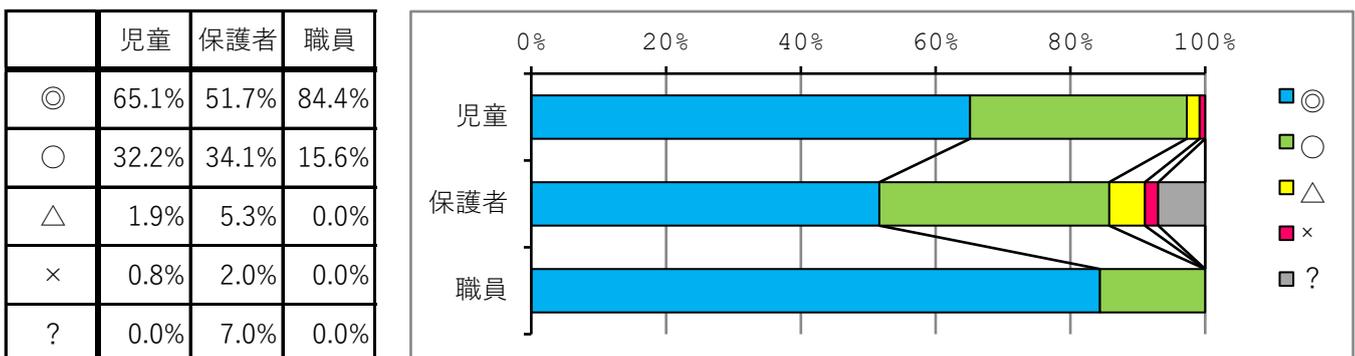
「児童は読書に親しんでいる」と回答した教員の割合が、昨年の36%から56%と大幅に増えている。今年から図書室が開館され、図書室に通う児童が増えたことが考えられる。それに対して「読書に親しんでいる」と回答した児童の割合が昨年の74%から63%と大幅に減っている。現在行っている週に2回の「朝の読書タイム」、月に1回の教員による「おはなしタイム」、学期に1度の「本と仲良し週間」を継続的に行い、継続して本に触れ合う機会を作っていきたい。

⑬子どもは家族と会話をしている



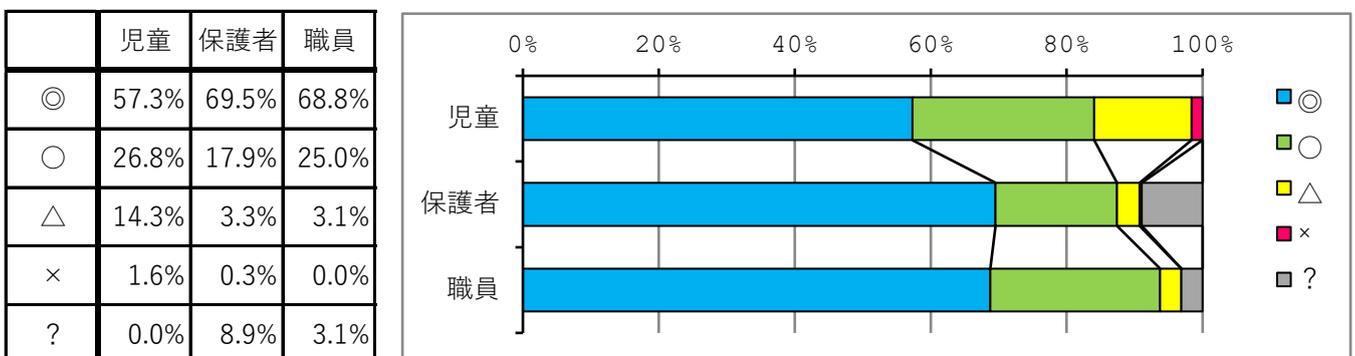
児童・保護者ともに90%以上が「会話をしている」と回答している。児童理解をするために、保護者とも常に情報交換を大切にしていきたい。学校でも教員と児童が話す機会を設け児童が安心して通える学校を、学校全体で作り上げていきたい。

⑭教師は話を聴いてくれる・児童理解



児童・教員ともに100%近くが「話を聴いてくれる」「話を聴こうとしている」と回答している。月に一度の学校生活アンケートをとっていること、学期に一度相談週間を設け、児童一人一人と話をする時間をとっていることなどから、このような結果になったのではないかと思います。今後も保護者と連携を取りながら情報交換をしていきたい。

⑮現在、いじめの心配はない

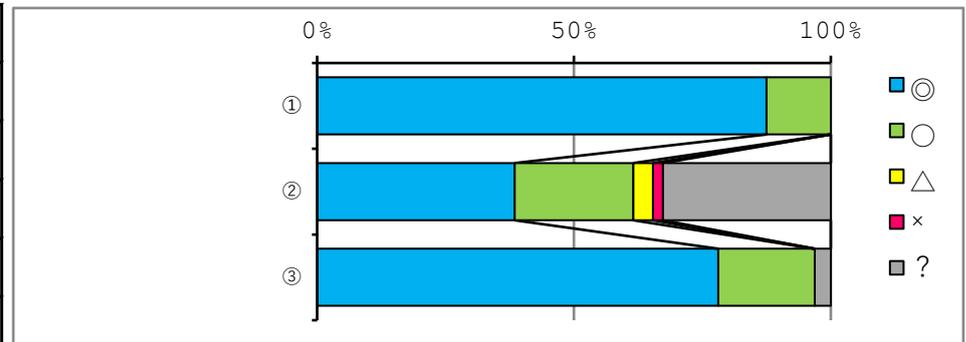


教員は、いじめの早期発見・解決に向けて「三小いじめ対応マニュアル」を意識して子どもたちと接していることがうかがえる。しかし児童の15%は「いじめの心配がある」と回答している。学校生活アンケートを行うのはもちろん、普段の生活からも子供の表情や言動に気を配り、アンテナを高くして担任以外とも情報共有をしていくようにしていきたい。

⑩職員の言動・連携

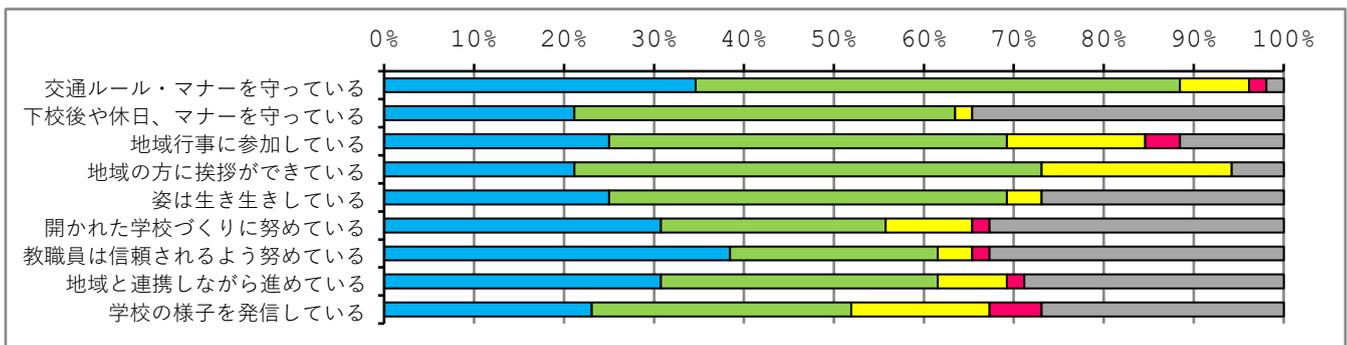
①職員は協力・連携できている②児童・保護者に信頼される言動③三蔵子の子の実現

	①	②	③
◎	87.5%	38.5%	78.1%
○	12.5%	23.1%	18.8%
△	0.0%	3.8%	0.0%
×	0.0%	1.9%	0.0%
?	0.0%	32.7%	3.1%



学年主任を中心にコミュニケーションを大切にしながら学年経営をされているため、担任同士の連携がとれている。また問題が起きたときには学年だけにとどめておくのではなく、必ず管理職に情報を上げ、学校全体で共有している。「みくらしトーク」で他学年の先生と話す機会を意図的に設けたり、月に一度の「生活推進委員会」で他学年の情報も共有している。チーム三蔵子として、困ったときにみんなで助け合える学校を目指していきたい。

⑪地域の方からのアンケート結果



「地域の方に挨拶ができている」の項目で、30%近くが「あまりできていない」「わからない」と回答している。まずは学校の中から取り組み、その後地域にも挨拶を広げられるように手立てを考えていく。「学校の様子を発信している」の項目では50%近くが「あまりできていない」「わからない」と回答している。ホームページで学校の様子を伝えていくようにしていきたい。

保護者の声

- ・タブレットを自宅に持って帰って活用してる学校を聞くので取り入れて欲しい。
- ・寒い日に、半袖体操着の下の下着の袖が長いとダメな理由がわかりません。

登校時の班の子が毎日決まった順で歩かず、列を乱し子供が注意しても守らない。その子たちと一緒に歩くのは車を運転している方の迷惑になる行為且つ我が子も危険な目に合いそうなので班から少し離れて歩くように伝えております。改善ができればお願いしたく存じます。※対象の生徒さんは高学年の2名です。

発達障害児でも過ごしやすい休憩時間の提供と、トラブルが起きた際に両者の意見をしっかり聞き対等な対応をしてほしい。

地域の方の声

- ・ことあるごとに挨拶できるといいかなと思う。
- ・朝の登校の様子が気になる。高学年・低学年がばらばらで登校している
- ・地域と学校が、一緒に行えるイベントが欲しいと思います。